



平成29年7月14日
海上保安庁

西之島の噴火について（7月11日観測）

7月11日午後2時20分から午後2時55分の間、しょう戒中の当庁羽田航空基地所属航空機MA725により、西之島の火山活動状況を確認しました。

・火山活動の状況

火砕丘中央の噴火口から約70秒間隔で小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙と噴石を放出していました（図1参照）。

溶岩流が西岸から海へ流入し、先端からの白色蒸気を確認しました（図1、2参照）。

火山活動が続いていますので、海上保安庁では引き続き航行警報により付近航行船舶に注意を呼びかけています。



図1 火砕丘中央の噴火口からの噴煙と西側の溶岩流先端からの白色蒸気（7月11日撮影）

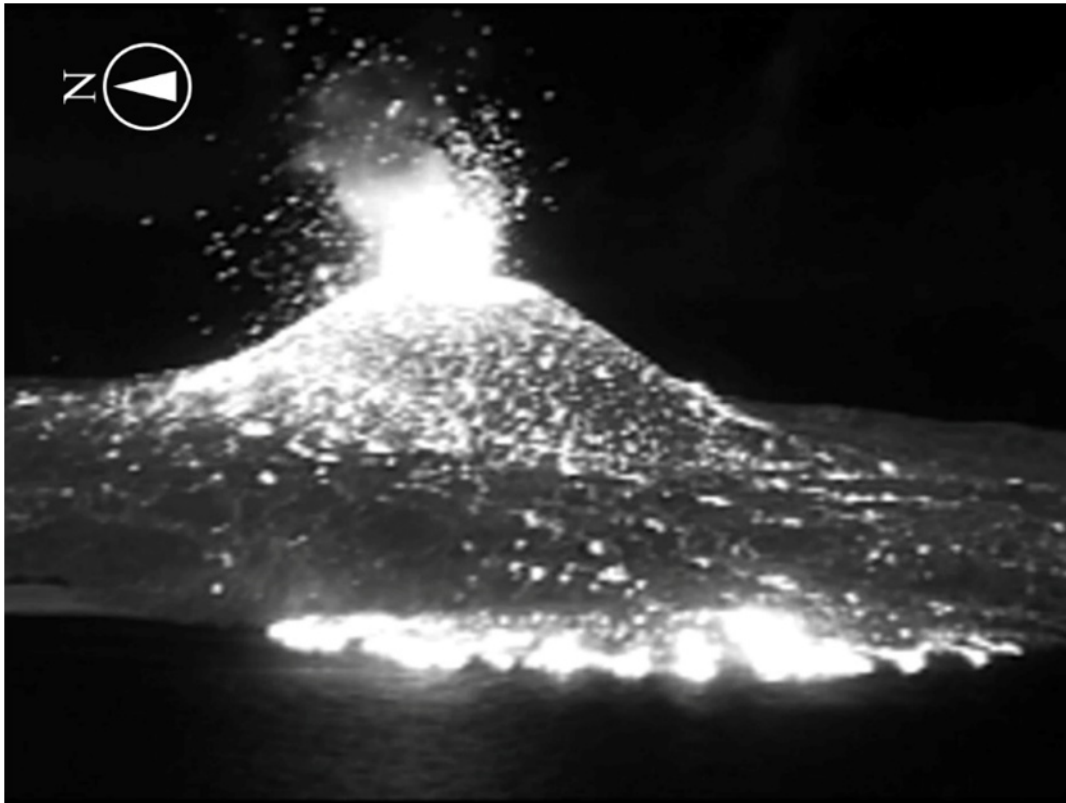


図2 熱画像（西側から見た溶岩流）（7月11日撮影）